



学 校 短 信

2026年(令和8年) 3月9日

大和市立南林間中学校 494号

にんげんだもの



校長 西澤 律雄

『つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの』

皆さんご存知だと思いますが、詩人・相田みつを(1924～1991)さんの作品のひとつです。相田さんは独特の筆文字と深い心のメッセージで知られる詩人で、彼の作品は日常の悩みや喜びをシンプルにかつ力強く表現しています。そんな作品が私自身も好きで、「人間なんで弱い生き物なのだから、無理をしないで、せいっぱい今を生きればいいんだよ」と相田さんに言ってもらっているように思えるのです。ですから、何かに悩みがあったり、失敗したことがあっても、相田さんの作品に励まされています。

さて、まもなく卒業式を迎えます。卒業する3年生の皆さん、そして、1, 2年生を含め、生徒の皆さんにはこれから先長い人生が待っています。長い人生ですから、大人でさえも躓くことが一度くらいあったはずです。もちろん躓いて転んだままではいけません。『七転八起』転んでも何度でも何度でも立ち上がればいいのです。

『あのときのあの苦しきも あのときのあの悲しみも

みんな肥料になったんだなあ じぶんが自分になるための』

生きることは、進むことです。進むことなくして成長はありません。生徒の皆さんにはこれからも自分に自信を持って、どんなに躓くことがあっても、前を向いて明るい未来に突き進んでほしいと願っています。

追伸：ちなみに私目指す人間像は、

『あなたがそこにただいだけで、その場の空気が明るくなる。

あなたがそこにただいだけで、みんなの心がやすらぐ。

そんなあなたに私もなりたい。』

です。

卒業に寄せて

3学年主任

大き目の制服に身を包み、南林間中学校の門をくぐったあの日から早3年。青学年274名はまもなく中学校卒業の時を迎えます。

この三年間、楽しいことだけではなく、辛いこともあったと思います。色々なことがあって、先生たちに叱られるなんてこともありました。でも、反省し次につなげ、前向きに取り組む。そのサイクルを繰り返し、一人ひとりが、そして青学年全体が一歩ずつ成長してきたように感じます。

青学年のいいところは行事に熱い！青学年は人懐こい！そして、青学年はあたたかい…あげたらきりがなくらいたくさんあります。そんなみなさんと別れるのは少し寂しい気もしますが、みんな同じ空の下で生きています。いつかきっと、また逢える日が来るはずです。夢を持ち、あなたを彩るすべての人・ものに対して感謝の気持ちを忘れないでください。

保護者の皆さま、3年間ご支援、ご協力ありがとうございました。職員一同、お子さまのさらなる飛躍と幸せを、心から願っています。ご卒業おめでとうございます。



3月の予定

- 11日 (水) 卒業証書授与式
- 13日 (金) 1年球技大会
各種委員会
- 17日 (火) 1年球技大会
- 24日 (火) おお掃除
- 25日 (水) 修了式・離任の会

